



きやま

真庭市立木山小学校だより

R4年度 第11号

令和4年 7月15日(金)発行

150周年記念事業が進んでいます ～6年生「フィールドワーク」～

7月8日(金)、6年生は創立150周年事業の1つ、木山学区の魅力マップづくりに向けて、取材のためのフィールドワークに出かけました。今回の訪問先は、木山神社・木山寺・上田ヴィレッジ・普門寺です。

事前に調べたことを基に、伺った折に直接お聞きしたい質問項目を予めまとめて、当日お伺いしました。

どちらの場所でも、6年生の質問に誠実に答えくださったり、親しく話をしてくださったりして、とてもありがたかったです。どの方のお話の中にも、それぞれの「熱い思い」があり、子どもたちはそれをしっかりと感じ取っていました。

帰校後は、タブレットで撮影した画像や動画にタイトルをつけて整理したり、伺ったお話をまとめたりしていました。この日の取材が、7月14日(木)のワークショップにどうつながるかとても楽しみです。



～6年生「ワークショップ」～

7月14日(木)3・4時間目に、ワークショップを行いました。木山学区の魅力マップづくりやイメージソングの作曲、DVD製作等をお世話になる会社のスタッフの方が来校され、情景描写ピアニストの山地さんと6年生とでワークショップを行い、その様子を一部5年生も参観しました。

山地さんの「マップに残したい場所はどんな所ですか?」という問いかけに対し、6年生からはフィールドワークで訪れた場所以外にも、日野上分校・茶畑・道の駅・下方八幡神社・木山小等、たくさんの場所が挙がりました。次に、それぞれの場所の魅力をふせんに書き出して貼ってみると、模造紙を埋め尽くすほどの数になりました。さすが地元のことだけあって、よく見聞きしているんだなと感じました。

続いて、大量のふせんをカテゴリーごとに仲間分けし、タイトルをつけて分類したら、2時間に及んだこの日のワークショップは終了です。

次回のワークショップは秋。場所やカテゴリーごとに担当を決め、マップ上に「ふきだし」の形で挿入する紹介文を作成していきます。夏休みの間には、心に残った学区内の情景を各自タブレットで動画撮影しておくことになりました。

また、ワークショップで出された「言葉」から連想して、今後山地さんがイメージソングを作曲され、その楽譜が10月頃届きます。学習発表会では5・6年生がその曲を演奏する予定です。



「私たちにできること」に取り組もう

6年生は国語科単元「私たちにできること」の学習で、資源や環境を大切にするために、学校でできることを考え、提案する活動を行いました。まずは、学校内の生活の様子に目を向け、課題を洗い出しました。その結果、「水や電気をむだ遣いしている場面がある」「トイレの使い方がよくない」「給食の食べ残しがある」等を課題として設定し、アンケートや資料で調べて現状と問題点を明らかにしました。次に、グループで改善に向けての提案の具体的な内容や解決方法について話し合い、作成した提案書が校長に届きました。

7月12日(火)の児童朝礼で代表児童から全校児童への趣旨説明があり、子どもたちの目につきやすい場所にポスターが貼られました。

節水・節電やSDGs、食品ロス等が報じられている今、本校でも6年生の提案により、一人一人が意識して取り組むことで、大きな効果が上がることを期待しています。

